

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果

研究開発課題名:	細胞集塊培養技術によって得られる人工材料不含の骨様組織を用いた顎骨再建療法事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	広島大学 大学院医系科学研究科 歯周病態学研究室 助教 加治屋 幹人

1. SCORE での活動目的

研究代表者は、間葉系幹細胞から、骨組織そのものに相当する立体的骨様組織を作製する培養技術を開発した。これは、有効な治療法が存在しない、腫瘍摘出後等の大規模顎骨欠損患者に対して、患者から分離した間葉系幹細胞(mesenchymal stem cells:MSCs)を立体骨様組織に加工し移植する、新規の顎骨再建療法となりえる。そこで、対象患者の実態把握、販売チャネルとなる企業調査、人工骨の市場規模とる医師のニーズ調査を実施することで、骨様組織を提供する事業の実現を目的とした。さらに、人工骨を用いた骨再生医療市場への参入可能性を検証する行うことで、その骨様組織提供事業を発展させることを目指した。

2. 総合所見

口腔外科医師と患者に対してアンケートにより適切で積極的な仮説検証活動を行ってニーズを明確化した点と、動物医療市場への参入へピボットし事業の実現性を高めた点、人的ネットワークを着実に構築した点を評価する。事業終了後も知財の確保や助成金の獲得を進めており、事業化を実現することに期待する。

以上